

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公開番号】特開2005-280958(P2005-280958A)

【公開日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-040

【出願番号】特願2004-100699(P2004-100699)

【国際特許分類】

B 6 5 G 53/40 (2006.01)

E 2 1 D 11/10 (2006.01)

E 0 4 G 21/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 53/40

E 2 1 D 11/10 D

E 0 4 G 21/02 1 0 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月11日(2005.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

かかる圧送装置においては、受入ホッパー140から分配室133に固結性材料Cが供給され、固結性材料Cが供給された分配室133は、ロータ103の回転により、やがて圧気供給口136b及び吐出口137aと連通される。この際、圧気供給口136b及び吐出口137aと連通された分配室133には、圧気供給口136bから圧気が吹き込まれ、これによって分配室133内の固結性材料Cが圧気に乗って吐出口137aから吐出され、図示しない圧送ホースを介して圧送される仕組みとなっている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

ここで、接続管体38は回転継手39を介して分配室33に対して連通されているため、接続管体38の向きを平面方向において装置周囲の任意の向きに変えることによって、圧送先の位置に応じて、圧送ホースの向きを基端部から変えることができ、圧送ホースの取り回しが非常に容易になる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

1 ... 駆動装置部、2 ... 圧送装置部、3 ... ロータ、3 A ... 上部ロータプレート、3 B ... 本体部、3 C ... 下部ロータプレート、3 R ... 減速機、3 M ... モータ、1 0 ... 締付け装置、3 0 ... 回転軸、3 1 ... 内壁、3 2 ... 外壁、3 3 ... 分配室、3 6, 3 7 ... 支持部材、3 6 A ...

上部フランジ、36B…上部ジョイントプレート、36H…貫通孔、37A…下部フランジ、37B…下部ジョイントプレート、36a…固結性材料供給口、36b…圧気供給口、37a…固結性材料吐出口、40…受入ホッパー、51…検出器、103…ロータ、110…締付け装置、130…回転軸、131…内壁、132…外壁、133…分配室、136、137…支持部材、136B…ロータとの接触面を構成する部材、136a…固結性材料供給口、136b…圧気供給口、137a…固結性材料吐出口、140…受入ホッパー、C…固結性材料、H…間隙、L…離間距離、P…配管、V…バイブレータ。